

山雲水月

発行責任者 龍源寺 住職 渡辺龍道

二十八世仁叟寺三十世重興大澄隆司大和尚納骨 蚕影山例祭、大施食会、檀信徒総会 無事圓成

令和3年

龍源寺年間行事予定

- 1/1~1/3 年頭祈禱・年賀受
1/4~1/7 年始挨拶
※1/10 年賀寺例
※2/2 大節分会
※2/15 釈尊涅槃会
※3/14 大般若大施食会法要
3/17~3/23 春季彼岸会
3/23 旧蚕影山例祭日
※4/3~4/4 二十八世本葬儀
4/8 釈尊降誕会(花祭り)
4/29 大施食会併蚕影山例祭法要
7/13~7/16 京浜地区盂蘭盆会
8/1 夏季おてんま
※8/10 中元寺例
8/13~8/16 盂蘭盆会
9/20~9/26 秋季彼岸会
※10月下旬 檀信徒研修旅行
12月上旬 冬季おてんま
※12/8 釈尊成道会
※12/10 歳暮寺例
※12/31 除夜会
※毎週水曜日 定例坐禅会
※隔週水曜日 梅花講稽古
※隔週土曜日 華道教室
※毎月最終土曜日 ヨガ教室
※は、本寺仁叟寺様にて修行



蚕影山例祭・大施食会法要①



蚕影山例祭・大施食会法要②



当山歴代住職墓地に分骨

当寺二十八世仁叟寺三十世重興大澄隆司大和尚の本葬が、4月3日に大夜式（通夜式）、4日に本葬儀として仁叟寺にてしめやかに修行されました。当山では、4月29日の蚕影山例祭、大施食会、檀信徒総会に併せ御寺院様、総代人ほかお立合いの下、龍源寺歴代住職二十八世墓所に分骨を納めました。

本年も昨年に引き続き、コロナ禍の状況でのおつとめとなり、参列者を檀家総代、顧問、役員各氏に限定をさせていただき、また随喜御寺院様及び梅花講の皆様も人数を制限し、修行いたしました。

まだ卒塔婆を取りにこられてない方は、当山本堂に安置しておりますので、御手隙の際にお持ち帰り、各墓所に手向けてください。

出牛均新総代長 ご挨拶

こんにちは、4月の総会で総代長に委嘱されました出牛均と申します。宜しくお願い致します。無論、浅学菲才、その器でない事は本人が一番よく承知しております。責任の重さに身が引き締まる思いです。

さて、いま世界中で、日本中で、新型コロナウイルスの変異株によって、膨大な感染者を生み、数多くの尊い命が失われています。お寺の役員として、コロナウイルス禍の一日も早い鎮静化と人々の心の安寧を願わずにはいられません。

また、産業廃棄物の不法投棄により、当寺院が莫大な被害を受け、未だに墓石塔の回復もなされていません。当被害は、人的な被災であり、自然災害ではありません。現在、裁判で係争中であります。何としても裁判で勝利を手にし、墓石塔の修復をしなければなりません。その為に、檀信徒の皆様方の、力強いご協力ご支援を心よりお願い申し上げます。原状を回復して、皆様と共に喜べる日が来るまで頑張る所存です。

最後に皆様方のご多幸とコロナに感染をしないことを祈りつつ、筆を置きます。合掌



出牛均新総代長



木村照夫前総代長

総代長交代のご報告

長年総代人として菩提寺龍源寺の護持運営にご尽力いただき、また総代長としてご活躍いただきました木村照夫様が、本年4月29日の檀信徒総会をもちまして総代長を辞されました。

木村前総代長に於かれましては、総代長は降りられましたが、総代人として檀信徒を代表し、ご尽瘁いただいております。引き続き、宜しくお願い申し上げます。

龍源寺総代人一同

松田 出牛 均 矢田 木村照夫 松田 白田幹男

役員交代のご報告

顧問	松田	出牛裕一	役員	松田	杉田 彰
全	松田	白田 博	全	松田	渡辺和孝
役員	多胡	小林光一	全	矢田	八木みち江
全	多胡	齋藤好治	全	矢田	八木和宏

本年度より、上記役員各位に於かれましては、菩提寺の興隆の為、お世話になります。宜しくお願い申し上げます。また前任役員の皆様方、ありがとうございました。合掌

龍源寺境内地及び墓地人災被害について

前号でもお伝えしたとおり、コロナ禍の状況下で迅速とはいえませんが、粛々と公判が進んでおります。本年6月までに、昨年末より提出を依頼しておりました群馬県及び高崎市よりの報告書、行政指示書、作業報告完了書が裁判資料として漸く提出されるに至りました。

内容につきましては、前号で詳細を記載させていただいたとおりです。また報告書と指示書は檀家各位に配布をさせていただき、この度、本号と共に作業報告完了書も頒布いたしました。同報告書には、産業廃棄物の処分総量は645m³と記載されています。この645m³は、被災地域より上部にて一時乾燥し保管した木材等の産業廃棄物の数量であり、流出した土砂等はこの数値に反映されていません。

故に少なく見積もって、被告多野造園土木株式会社らにより、645m³（2トントラック凡そ327台分）の産業廃棄物が、傾斜地である羽切吉胤被告所有の原因地に、当山及び近隣住民は勿論、行政等の許可も得ることなく、また何の流出防止策も施さず、数社による会社ぐるみ親族ぐるみで隠れて、20年ほどの長期に亘り、計画的に違法に投棄されてきたといえます。

7月3日には、当件の原告代理人である高橋三兄弟法律事務所高橋勉弁護士を招き、墓地及び土地被災者と共に説明会を行います。併せて当山本堂に安置されている被災者ご遺骨に対し、慰霊法要を行っており、当説明会で既に10回目となります。今回は特に、事件発生当時よりご尽力いただいている飯塚邦広高崎市議会議員より本件についてのご報告も予定しております。

まだまだ時間が掛かりそうですが、本件に於きましては、一日も早い原状回復、特に墓地の復旧を目標に、被害者代表寺尾富夫氏、副代表須川勇氏を中心に関係者一同が、力を合わせ精進をしておりますこと、何卒ご承知おきください。また、当件につきまして、何か情報がございましたら、住職までご連絡を宜しくお願い申し上げます。

仁叟寺通信～もみじ山歴史古墳公園環境整備～



奉仕作業集合写真（5月30日）

仁叟寺の竹林を整備し、地元と檀信徒の方々のご協力で行っております高崎市里山元気再生事業。伐採した竹林は既に7,000本以上。その跡地には、モミジやサクラ約300本を植樹し、小沢昇氏と矢島正義総代長により参道脇に多くの山野草や福寿草のほか、有志の方々より寄贈された紫陽花を植栽いたしました。また森久総代人と山田稔氏より水仙及び彼岸花の球根を多数頂戴し、植えることが出来ました。本年も紫陽花及び彼岸花等を土手沿いに植栽いたしたく、皆様方のご自宅にある球根のご提供

を宜しくお願い申し上げます。

本年も5月30日に総代人世話人有志にご協力賜り、奉仕作業を行いました。植樹した木々が、しっかりと根付くよう、下草刈りや篠竹刈り等の作業を行い、共に汗を流しました。

当地には、多胡古墳群など歴史を物語る古墳も多数遺されており、昨秋及び本年6月に市教育委員会による調査が入りました。古墳時代からの貴重な古墳群に、山内全景や上毛三山、吉井市街等が見渡せる風光明媚な場所。関係各位のご尽力の下、里山再生に相応しい「仁叟寺もみじ山歴史古墳公園」に向けた整備が、着々と進められていますので、ご理解ご協力をお願いいたします。



整備が進む仁叟寺古墳群

当山住職 緋恩衣特許

令和3年6月1日、当山住職が緋恩衣の特別許可を、曹洞宗宗務庁経歴審査会の精査を経て、曹洞宗管長より辞令をいただきました。緋色の恩衣と立帽子の着用が認められます。仁叟寺様より本年新盆を迎える二十八世大澄隆司大和尚から引き継いだ法衣も頂戴し、来年の蚕影山例祭、大施食会等でご披露をさせていただこうと思っております。

↓
緋恩衣特許状



山内整備報告

現在、当山の境内地等の環境美化に関しましては、年2回、夏冬に行われます総代役員各位のご協力によるおてんま（奉仕作業）と住職及び寺族の山内関係者により行われております。また、随時奉仕作業を頂戴

㊦駐車場再整備工事開始時 ㊧完了後（令和3年6月）

することもあります。除草剤散布や樹木伐採等は、神部住宅サービス様はじめ縁ある専門の業者に依頼をしています。

現在、住職は仁叟寺副住職を兼ねており、仁叟寺住職夫妻も既に古稀を越えました。その寺務等につきましても、今まで以上にしっかりと任に当たらせていただこうと考えております。龍源寺の環境美化の維持について、持続的長期的に考えていけるよう、負担軽減と経費削減を両立させながら、住職として考えておりますので、ご理解ご協力をお願い申し上げます。

また近年整備いたしました龍源寺駐車場の再整備を、仁叟寺様のご協力により本年6月に行いました。人災により土砂を含んだ水が参道を流れ、碎石を埋めてしまう等の被害があり、工事を進めさせていただきました。人災の影響は、時間や手間は勿論、風評、経済面、環境面等、多岐に亘り深く悪影響を及ぼしておりますが、今はしっかりと出来る範囲で果たさなければならぬことに対処するのみであります。併せて、ご理解ご協力をお願い申し上げます。

行雲流水（編集後記）

編集人 住職 渡辺龍道

コロナ禍も収束が不透明なところでありますが、ワクチン接種が開始となり、徐々に光明が見えてきたこの頃であります。当山でも、手洗いうがいの奨励、法要中のマスク着用、換気の実施、本堂に除菌消毒器を設置等、出来る対策を講じております。

また産業廃棄物違法投棄による人災の係争及び回復に関しましても、非常に時間が掛かっておりますが、少しずつ進んでおります。

私事で恐縮ですが、本年4月より地元高崎市立多胡小学校の学校評議員を拝命いたしました。昨年度のPTA会長から引き続きであります。再来年に150周年を迎える歴史ある母校の為に、微力ながらお力添えをさせていただきます。合掌

本堂に新添した木製足踏式
除菌消毒液台（鈴木伸代氏寄進）

